

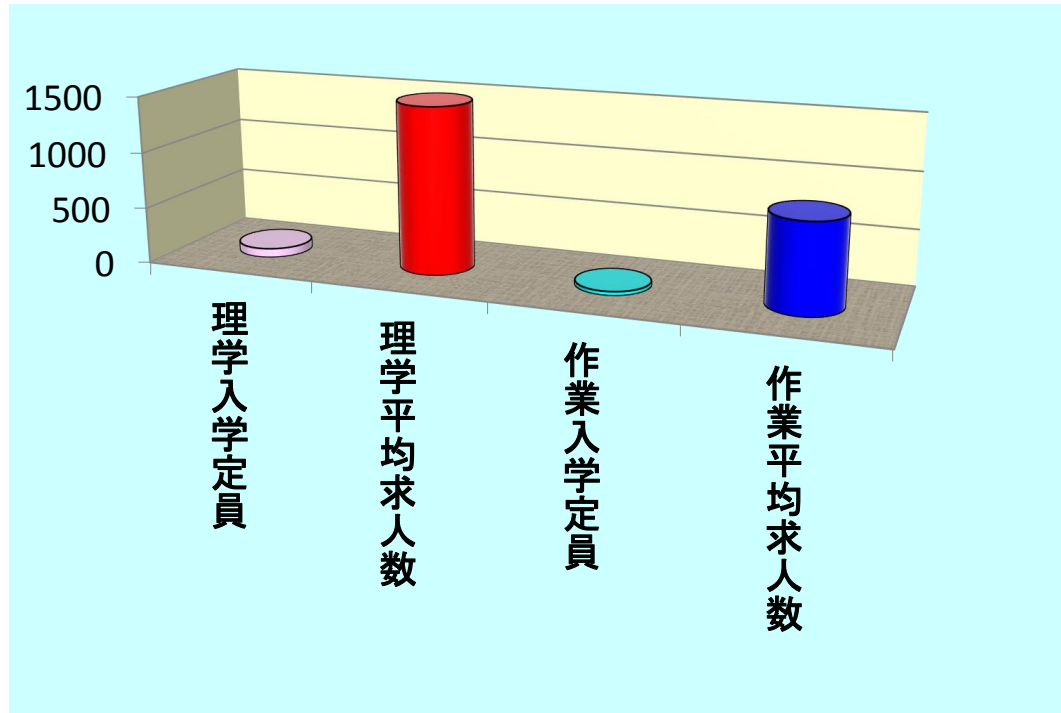
金城大学医療健康学部における就職進学支援および国家試験準備支援
(実施例)

医療健康学部理学療法学科国家試験対策・就職進学支援(例)

4月		臨床実習 I・II	小グループ指導	対策講座	学内模試	業者模試	推奨図書案内他	就職進学支援		
4月	上旬									
	中旬									
	下旬									
5月	上旬									
	中旬									
	下旬									
6月	上旬									
	中旬									
	下旬									
7月	上旬									
	中旬									
	下旬									
8月	上旬						■図書・模試申込	就職ガイダンス、キャリア開発講座、就職活動基礎講座、就職活動実践対策講座、専任教員による進学説明会、個人面接・相談		
	中旬	学生を専任教員にグループ化してきめ細かい指導	専任教員による対策講座							
	下旬									
9月	上旬			●過去問1						
	中旬			●過去問2・3						
	下旬			●過去問4						
10月	上旬									
	中旬									
	下旬									
11月	上旬									
	中旬									
	下旬			●基礎学力試験1	●業者模試I					
12月	上旬								■申込説明会	
	中旬	●基礎学力試験2								
	下旬		●業者模試II							
1月	上旬					●業者模試III				
	中旬					●業者模試IV				
	下旬									
2月	上旬					●業者模試伍				
	中旬						■壮行会			
	下旬						■自己採点会			
3月	上旬									
	中旬						■3年生業者模試			
	下旬									

※アイベック模試【自宅受験】12~2月4回 受験者8割程度

金城大学就職進学支援部への理学療法士・作業療法士求人状況(平成24、25年度)



平成24、25年平均で、理学療法学科は入学定員(80人)の18.5倍、作業療法学科は入学定員(35人)の22.6倍の求人があった。

理学療法士求人状況

	石川県		富山県		福井県		北陸3県外		合計	
	求人件数	求人数	求人件数	求人数	求人件数	求人数	求人件数	求人数	求人件数	求人数
平成24年度	53	108	38	92	28	55	289	1365	408	1620
平成25年度	36	85	35	68	27	72	286	1129	384	1354

作業療法士求人状況

	石川県		富山県		福井県		北陸3県外		合計	
	求人件数	求人数	求人件数	求人数	求人件数	求人数	求人件数	求人数	求人件数	求人数
平成24年度	14	33	0	0	8	10	145	802	167	845
平成25年度	9	25	10	23	6	22	150	665	175	735

金城大学医療健康学部就職実績

年度	学部	卒業生 (人)	進学 その他 (人)	就職 希望者 (人)	就職者 (人)	学部別 就職率
平成25年度	社会福祉学部	178	12	166	163	98.2%
	医療健康学部	77	1	76	76	100.0%
平成24年度	社会福祉学部	165	10	155	152	98.1%
	医療健康学部	64	2	62	62	100.0%
平成23年度	社会福祉学部	172	5	167	166	99.4%
	医療健康学部	58	6	52	52	100.0%
平成22年度	社会福祉学部	223	11	212	204	96.2%
	医療健康学部	58	6	52	52	100.0%
平成21年度	社会福祉学部	191	13	178	174	97.8%
平成20年度	社会福祉学部	186	7	179	175	97.8%
平成19年度	社会福祉学部	210	13	197	195	99.0%
平成18年度	社会福祉学部	197	12	185	183	98.9%
平成17年度	社会福祉学部	194	11	183	181	98.9%
平成16年度	社会福祉学部	227	16	211	209	99.1%
平成15年度	社会福祉学部	180	11	169	168	99.4%

学術集会・研究会等開催状況

学会等の名称	開催日	会場	参加者数
第19回石川県理学療法学会 (石川県理学療法士会主催)	平成22年3月14日	金城大学 社会福祉学部棟	約150人
理学療法士講習会 筋骨格系疾患の段階的診察法 (日本理学療法士協会主催)	平成22年10月9日、10日	金城大学 医療健康学部棟	約50人
新人教育研修会 (石川県理学療法士会主催)	平成23年6月12日	金城大学 医療健康学部棟	約80人
理学療法士講習会 筋骨格系疾患の段階的診察法 (日本理学療法士協会主催)	平成23年10月8日、9日	金城大学 医療健康学部棟	約30人
第21回石川県理学療法学会 (石川県理学療法士会主催)	平成24年3月11日	金城大学 医療健康学部棟	約230人
筋力増強運動の基本-骨関節系疾患とスポーツに対する治療手技- (日本理学療法士協会主催)	平成24年9月23日	金城大学 医療健康学部棟	約30人
筋骨格系疾患の段階的診察法 (日本理学療法士協会主催)	平成24年10月7日、8日	金城大学 医療健康学部棟	約30人
変形性膝関節症の理学療法 (日本理学療法士協会主催)	平成25年8月17日、18日	金城大学 医療健康学部棟	約80人
生活を考える理学療法リハビリテーション (脊髄損傷理学療法研究会)	平成25年10月12日、13日	金城大学 医療健康学部棟	約80人
筋骨格系疾患の段階的診察法 (日本理学療法士協会主催)	平成25年11月3日、4日	金城大学 医療健康学部棟	約30人
新人教育研修会 (石川県理学療法士会主催)	平成26年1月26日	金城大学 医療健康学部棟	約80人
第23回石川県理学療法学会 (石川県理学療法士会主催)	平成26年3月16日	金城大学 医療健康学部棟	約270人
筋骨格系疾患の段階的診察法 (日本理学療法士協会主催)	平成26年10月12日、13日 (予定)	金城大学 医療健康学部棟	30人程を見込む
新人教育研修会 (石川県理学療法士会主催)	平成27年2月8日 (予定)	金城大学 医療健康学部棟	80人程を見込む
第24回石川県理学療法学会 (石川県理学療法士会主催)	平成27年3月15日 (予定)	金城大学 医療健康学部棟	250人程を見込む

卒後研修会開催状況

1 定例研修会

回次	開催日時	会場	題目	講師
第1回	平成23年8月27日(土) 16時～17時30分	金沢福祉用具情報プラザ 2F会議室	「脳卒中患者の理学療法の進め方」	金城大学医療健康学部 准教授 永井将太
第2回	平成24年9月15日(土) 14時～17時	金城大学 医療健康学部棟	片麻痺患者の運動療法 (実技)	金城大学 学長 奈良 勲
第3回	平成25年9月22日(日) 14時30分～17時30分	金城大学 医療健康学部棟	解剖学的特徴を生かした 関節可動域の改善法～ 実技: 下肢編～	小松真一 (一般社団法人Re Smile 代表理事, 理学療法士)
第4回	平成26年9月20日(土) 14時～17時 (予定)	金城大学 医療健康学部棟	膝関節に対する評価と治 療	長田 勉先生 (公立松任石川中央病院)

2 テーマ別研修会

開催日時	会場	題目	講師
平成24年12月16日(日) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	上肢の触診機能解剖	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成25年 1月27日(日) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	下肢の触診機能解剖	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成25年 2月9日(土) 10時～18時	金城大学 医療健康学部棟	関節モビライゼーション	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成25年 4月28日(日) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	下肢の関節モビライゼーション	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成25年 5月3日(金) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	下肢の軟部組織モビライゼーション	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成25年5月26日(日) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	下肢の筋膜マニピュレーション(伝達講習)	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成25年 6月30日(日) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	上肢の関節モビライゼーション	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成25年 7月7日(日) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	上肢の軟部組織モビライゼーション	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成26年4月27日(日) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	触診機能解剖 下肢・骨盤帯触診	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成26年 5月6日(火・祝日) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	触診機能解剖 上肢・肩甲帯触診	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成26年5月11日(日) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	下肢の関節モビライゼーション	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成26年6月8日(日) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	上肢の関節モビライゼーション	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央
平成26年8月23日(土) 10時～17時	金城大学 医療健康学部棟	脊柱の触診と仙腸関節・腰 椎のモビライゼーション	金城大学医療健康学部 講師 神谷晃央

金城大学と白山市との連携・協力の例

	事業名	内容	実施回数等
1	「金城大学公開講座」 (医療健康学部・社会福祉学部・短期大学部)	白山市の後援のもと、市民を対象とした公開講座を毎年実施している。	年20回程度 開催
2	「北國健康生きがい支援事業」	一般の方を対象にした「社会福祉講演会」、「医療健康講演会」、「第3回福祉創造フォーラム」を開催している。	年3回程度 開催
3	世代間交流事業 「ゆうがく広場」	地域住民と本学社会福祉学部学生が交流する学内サロン。アクティビティプログラム、園芸プログラム、介護予防教室参加プログラムを中心として行われている。	年8回程度 開催
4	「介護技術講習会」	介護福祉士国家試験の実技試験免除となる講習会	年4回（各4日間）程度 開催
5	「悠遊健康サークル」	白山市、白山市高齢者支援センター等との連携のもと、地域における効果的な健康増進システムを構築、導入することで市民一人ひとりの主体的な心身の健康づくりを支援することを目的とした事業である。	年12回程度開催
6	各種委員等の派遣	白山市の各委員会等へ専任教員を委員として派遣している。	
7	幼稚園・保育所の移管	白山市立西南幼稚園は、昭和54年から金城学園が管理運営を委託してきたが、平成20年4月から金城大学附属西南幼稚園として金城大学へ移管された。 また、白山市立蝶屋保育園は、本学の関連法人として設置された社会福祉法人金城福祉会に、平成24年3月に移管された。	
8	金城大学の設置及び医療健康学部、看護学部の設置等	金城大学は、松任市（現白山市）より9億円の補助金を受けて設置され、その後、医療健康学部の設置の際にも白山市から2億円の補助金を受けている。 さらに、平成27年開設予定の看護学部の設置においても、白山市から3億円の補助金を受け、白山市が中心となって設立された白山石川医療企業団からは校地や設備・備品の無償貸与を受ける。	

第5章 保健・医療基盤の充実

看護師等学校養成所卒業状況

(平成24年3月)

入学時状況(人)		卒業状況(人)			
定員	入学者数	卒業生総数	県内就業	県外就業	進学・その他
1,015	807	713 (100.0%)	454 (63.7%)	202 (28.3%)	57 (8.0%)

(平成19年3月)

入学時状況(人)		卒業状況(人)			
定員	入学者数	卒業生総数	県内就業	県外就業	進学・その他
885	719	646 (100.0%)	426 (65.9%)	134 (20.7%)	86 (13.3%)

【理学療法士・作業療法士】

(1) 現状と課題

○ リハビリテーション技術の高度化に対応するために、理学療法士・作業療法士の資質の向上を図る必要がある。

- ① 県内の病院に就業している理学療法士及び作業療法士は、平成23年10月1日現在、それぞれ523.6人及び386.4人、人口10万対ではそれぞれ45.2人（全国40.5人）及び33.1人（全国25.8人）であり、いずれも全国平均を上回っている。
- ② 現在、本県には、理学療法士及び作業療法士の養成施設として、金沢大学医薬保健学域保健学類（入学定員各20人）、金沢リハビリテーションアカデミー（入学定員各35人）、国際医療福祉専門学校七尾校（入学定員各35人）及び理学療法士の養成施設として金城大学医療健康学部理学療法学科（入学定員80人）がある。
- ③ また、リハビリテーション技術の高度化に対応するため、理学療法士及び作業療法士の資質の向上を図る必要がある。
- ④ なお、県リハビリテーションセンターが「地域リハビリテーション推進事業」として、地域のリハビリ関係者に対する教育研修及び専門的技術支援・指導を実施している。

(2) 対策

○ 県理学療法士会及び県作業療法士会は、理学療法士及び作業療法士の資質向上に向けた研修会を実施する。

- ① 理学療法士及び作業療法士の確保
市町、介護老人保健施設等は、必要なリハビリテーションを提供するため、理学療法

士及び作業療法士を確保するよう努める。

② 生涯研修の推進

ア 県理学療法士会及び県作業療法士会は、理学療法士及び作業療法士の資質向上に向けた研修会を実施する。

イ 県リハビリテーションセンターが実施している教育研修及び専門的技術支援・指導のより一層の充実を図る。

理学療法士数の年次推移（病院勤務者のみ）

年度	石川県		全 国
	人数(常勤換算)	人口10万対	人口10万対
平成20年	388.9	33.3	30.2
平成21年	426.7	36.6	33.4
平成22年	472.1	40.4	37.1
平成23年	526.6	45.2	40.5

「病院報告」（厚生労働省）

作業療法士数の年次推移（病院勤務者のみ）

年度	石川県		全 国
	人数(常勤換算)	人口10万対	人口10万対
平成20年	317.2	27.1	19.1
平成21年	337.5	28.9	21.6
平成22年	366.6	31.3	24.0
平成23年	386.4	33.1	25.8

「病院報告」（厚生労働省）

医療圏別理学療法士・作業療法士数（病院勤務者のみ 平成23年）

医療圏	理学療法士		作業療法士	
	人数(常勤換算)	人口10万対	人数(常勤換算)	人口10万対
南加賀	123.1	52.6	83.3	35.6
石川中央	331.5	45.8	255.6	35.3
能登中部	57.0	42.5	37.5	28.0
能登北部	15.0	20.3	10.0	13.5
計	526.6	45.2	386.4	33.1

「病院報告」（厚生労働省）

2 保健・医療・福祉の連携

(1) 現状と課題

- 母子や高齢者の保健福祉事業など住民に身近なサービスの主体は市町の役割であるが、その適正かつ円滑な提供のために、保健福祉センターをはじめとする関係機関との連携が求められている。
- 住民のニーズに的確に対応するため、質の高い保健・医療・福祉関係者の養成が必要である。

- ① 少子化・高齢化が急速に進む中で、1) 少子化、女性の社会進出に伴い、安心して子どもが生まれて育つ環境の整備、2) 今後とも増加が予測される寝たきりや認知症等の要介護者対策、3) 障害のある人もそうでない人と同様に社会参加と自立ができる社会環境づくり等が重要になってきている。
- ② これらに対応するため、保健・医療・福祉の垣根を超えた総合的、一体的なサービスの提供を図る必要がある。
- ③ このため、保健福祉センターについては、地域保健福祉の専門的・技術的拠点として、難病患者や結核患者、精神障害者等に対する専門的サービスや介護保険制度、障害者自立支援法に関する市町への助言や援助、児童虐待防止のための体制づくり、高齢者虐待防止に取り組む市町への支援など、保健福祉の統合を活かした質の高いサービスを住民に提供するとともに医療関係者、市町の保健担当者、福祉専門職員などとの連絡会議を開催し、保健・医療・福祉の連携に努めている。
- ④ 一方、母子や高齢者の保健福祉事業、介護保険制度や障害者自立支援制度の運営等を担う市町については、住民に身近なサービスの提供主体として、その役割が大きくなっており、「地域包括支援ネットワーク」等を構築・活用して、医療機関や介護保険事業者、障害福祉サービス事業者等との調整や連携を図ることが求められている。
- ⑤ 医療機関や介護保険事業者、障害福祉サービス事業者等については、連携して住民のニーズに見合う保健・医療・福祉サービスを適切に提供することが求められている。特に、住民の日常の健康管理や医療等を担うかかりつけ医や、患者や家族の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助する医療ソーシャルワーカー、要介護者等からの相談に応じ、適切な介護サービス計画の作成等を行う介護支援専門員等については、住民に適切なサービスを提供する上で重要な役割を担っていることから、保健・医療・福祉にわたる幅広い知識の習得等の資質の向上が必要である。
- ⑥ また、高齢者医療においては、医療と保健、福祉との連携により、入院治療の必要がなくなった患者が、自宅で安心して療養できるようにするため、患者やその家族に対して、在宅医療や在宅介護などの利用の啓発や、訪問指導等の保健サービスの普及を図ること、あるいは、医療機関から社会福祉施設等へ円滑に入所できるようにするため、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などを計画的に整備することなどが必要である。

- ⑦ 一方、精神医療においては、精神疾患の患者が住み慣れた地域でできるだけ長く生活できるように、早期退院に向けた支援と、在宅療養生活を支え、再入院を防止するための地域医療支援体制の構築を図るとともに、グループホーム等の居住の場の確保と、日常生活に必要なとされる在宅支援や就労支援等の充実が必要である。

また、県民に対し、障害に対する理解を深め、共に生きる心を持って障害のある人に接するよう、一層の啓発・広報に努めることが必要である。

(2) 対策

- 保健福祉センターを中心とした市町、関係機関との連携のため、医療や保健、福祉の関係者との連絡会を開催する。
- 保健福祉センターは、市町に対し、専門的立場から技術的助言などの支援を行う。
- 質の高い医療・保健・福祉関係者の確保や資質向上のため、保健福祉センター、市町は、保健福祉のあり方や専門技術の習得などに関する研修会を実施する。

① 保健・医療・福祉の連携強化

県民が必要としているサービスを総合的に提供するため、保健福祉センターは、医療機関、介護保険事業者や社会福祉施設などとの連絡会を開催し、相互の連携を強化する。

また、地域ごとに、糖尿病の予防や治療に関わる保健・医療関係者による地域連絡協議会の開催や、在宅医療を支える医療・福祉関係者からなる在宅医療連携グループによる研修会の開催などにより、地域における連携体制の強化を図る。

② 市町に対する支援

保健福祉センターは、母子保健福祉、高齢者保健福祉、介護保険、精神保健福祉、障害者福祉など市町が実施するサービスについて専門的立場から技術的助言などの援助を行う。

③ 保健・医療・福祉関係者の確保と資質の向上

県、保健福祉センター、市町は、保健・医療・福祉関係の人材確保や資質向上のための研修会を実施する。

④ 高齢者医療や精神医療における医療と保健、福祉との連携の推進

県及び関係者は、高齢者の地域ケア体制の確立や、精神障害者の地域生活支援対策などを進めるために、「いしかわ健康フロンティア戦略2013」や「石川県長寿社会プラン2012」、「いしかわ障害者プラン2007」に基づく保健・医療・福祉に亘る総合的な施策を推進する。

第3節 計画の基本目標

1 基本目標

この計画の基本目標を、
「患者本位の良質かつ適切な医療提供体制の確保」とします。

これまで、保健・医療機関、行政等の取組みにより、地域における質の高い医療提供体制が概ね整備されてきているところですが、引き続き、患者の視点を重視するとともに、さらなる質の向上を図っていく必要があります。

また、医療、保健、福祉が、疾病予防から治療、リハビリテーションに至るまで、相互に連携を強化しながら提供されるよう取り組んでいく必要があります。

2 基本計画

基本目標の実現に向けて、次の2つの柱からなる基本計画により施策を推進します。

(1) 質の高い医療の提供

患者が病状に応じて良質かつ適切な医療を受けることができるよう、医療機関相互の機能分担と連携、医療機能の充実を図り、5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）や5事業（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療）、在宅医療等の医療提供体制の整備充実に努めます。

また、医療機関等における医療安全に対する取組みや医療情報の提供を促進し、患者が自ら医療機関や治療方法を選択し、安心して医療に参加できる環境づくりに努めます。

さらに、医療の高度化・専門化に対応できる資質の高い医療従事者の確保を図ります。

(2) 医療・保健・福祉の総合的な取組みの推進

関係機関の連携による要介護等高齢者対策、障害者対策、難病対策、地域リハビリテーション等の医療と保健・福祉が一体となった総合的かつ効果的なサービス提供体制を推進します。

また、健康危機管理体制や感染症対策、食品・飲料水等の安全確保等について、厚生センター・保健所、医師会、消防機関等の関係機関と連携し、推進します。

〔1—3〕 医療提供体制の整備充実

(1) リハビリテーション

現状と課題

- 脳卒中、生活不活発病（廃用症候群）、骨折の増加などにより、リハビリテーションの需要が増加しています。
- リハビリテーションは、患者の症状に応じて適切な時期に行うことが効果的であり、医療機関において、主に急性期・回復期リハビリテーションが行われています。
- 維持期（生活期）リハビリテーションは、通所リハビリテーション及び訪問リハビリテーションで行われています。
- 2010（平成 22）年度必要医師数実態調査によれば、リハビリテーション科医師数は 20 人（現員医師数）で、必要求人医師数は 6 人となっており、不足傾向にあります。
- 県内でリハビリテーション科を設置している病院は 60 施設となっています¹。
- 2012（平成 24）年 1 月現在、脳血管疾患等リハビリテーション料届出医療機関数は 65 機関、人口 10 万人当たり 5.9 機関（全国：5.6 機関）と全国より多くなっています²。
- 2010（平成 22）年 10 月から翌年 3 月までの 6 か月間の早期リハビリテーションの実施件数は 6,267 件、人口 10 万人当たり 570.9 件（全国：441.7 件）と全国より多くなっています²。
- 2011（平成 23）年 3 月現在、回復期リハビリテーション病床数は 449 床であり、人口 10 万人当たりでは 40.9 床（全国：46.7 床）となっており²、回復期リハビリテーション体制については、病床数、医療人材ともに不足しています。
- 2011（平成 23）年 4 月現在、訪問リハビリテーション事業所数は 30 事業所、人口 10 万人当たり 2.7 事業所（全国：2.5 事業所）と全国とほぼ同じ状況とな

¹ 医療機能情報報告（2012〈平成 24〉年 7 月）

² 脳卒中の医療体制構築に係る現状把握のための指標（402-403 ページ）

っています³。

- 近年、高次脳機能障害、摂食嚥下障害、神経難病などの多様な疾患への対応が必要となってきましたが、それぞれの疾患に対応した設備・機器の整備が十分ではなく、高度・専門的なリハビリテーション医療が必ずしも十分に提供できなくなっています。
- 高志リハビリテーション病院を「富山県リハビリテーション支援センター」に指定し、関係者・関係機関への人的・技術的支援、リハビリテーション資源の調査・研究、研修会の開催、情報の提供など、本県の中核施設として、地域リハビリテーションの支援体制整備を進めています。

施策の方向

- 急性期から回復期、維持期（生活期）に至るまで、患者の症状に応じたリハビリテーションを行う体制の充実を図ります。
- 県民に対して、リハビリテーションに関する普及啓発を行います。
- 回復期リハビリテーション病床を増加させるため、一般病床、療養病床から回復期リハビリテーション病床への転換を支援します。
- 高志リハビリテーション病院、高志学園及び高志通園センターを新たな総合リハビリテーション病院・こども医療福祉センター（仮称）として再編整備し、本県のリハビリテーション医療の推進拠点として機能の充実強化を図るとともに、県全体のリハビリテーション医療水準の底上げと地域リハビリテーションの一層の推進を図ります。
- 高志リハビリテーション病院や新たな総合リハビリテーション病院・こども医療福祉センター（仮称）において、リハビリテーション関係技術職員の研修やリハビリテーション技術の開発、普及など医療機能の充実を図ります。

³ 在宅医療の体制構築に係る現状把握のための指標（427 ページ）

(5) その他の保健医療従事者

現状と課題

- 本県における病院等医療施設で就業する理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、歯科技工士、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士等の状況は次ページのとおりです。

施策の方向

- 県民のニーズに応じた保健医療サービスを提供するため、医療施設従事者等の需要と供給の把握に努め、養成機関等と連携しながら、保健医療関係者の確保を図ります。
- 個々の保健医療従事者が医療技術の進歩や医療環境の変化に対応できるよう、各職種の関係団体が実施する研修会や県内で開催される医療関係学会への支援等を行い、その資質の向上に努めます。